

第**66**期 第2四半期報告書 平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第66期第2四半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期を過ぎて、わが国経済は、リーマンブラザーズの破綻を震源とする世界金融破綻を受け、その衝撃は収まる気配が無く、株価は低迷し、先行きの不透明感が更に増しております。

海外におきましても、米国でサブプライム問題の発生から、アメリカ経済は大きく後退し、中国においても経済成長率は10%を割る事態となっております。

このような景況の中にあって、当社グループは懸命な営業活動を展開し、売上高確保、生産及び販売効率の向上等に努力してまいりました。

その結果、当第2四半期の売上高は31,854百万円（前年同期比0.3%増）と前年同期を僅かに上回りました。利益につきましては、経常利益は1,714百万円（前年同期比26.8%増）、四半期純利益は795百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、11月14日の取締役会におきまして、1株につき5円と決定いたしましたので、お受取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長 村上太郎

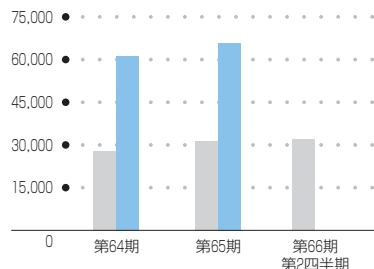
CONTENTS

P 1	株主の皆様へ
P 2	決算ハイライト
P 3	セグメント別概況
P 4	今後の課題と経営戦略・トピックス
P 5	四半期連結財務諸表
P 7	国内外関係会社拠点
P 8	株式の概況
P 9	会社の概況

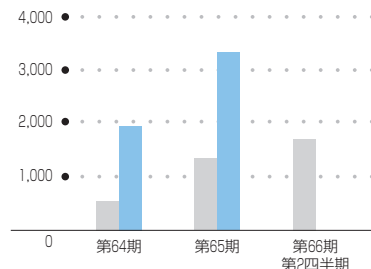
決算ハイライト

第2四半期(中間期) ■
通 期 ■

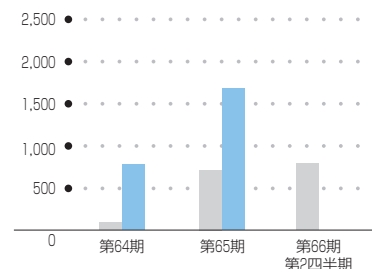
売上高 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)

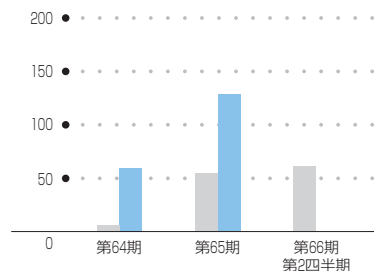


四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)

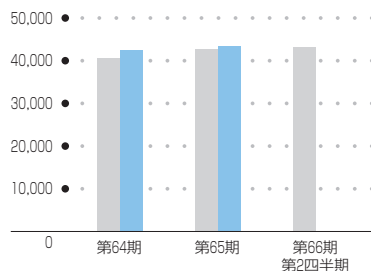


	第64期 (平成19年3月期)		第65期 (平成20年3月期)		第66期 (平成21年3月期)	
	中間期	通期	中間期	通期	第2四半期	
売 上 高 (百万円)	28,109	61,887	31,754	66,003	31,854	
経 常 利 益 (百万円)	552	1,963	1,351	3,347	1,714	
四 半 期 (当 期) 純 利 益 (百万円)	84	777	713	1,675	795	

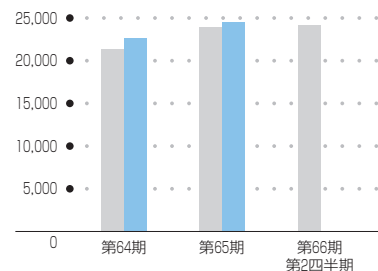
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



	第64期 (平成19年3月期)		第65期 (平成20年3月期)		第66期 (平成21年3月期)	
	中間期	通期	中間期	通期	第2四半期	
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	6.45	59.48	54.63	128.29	60.94	
総 資 産 (百万円)	40,820	42,574	42,865	43,495	43,416	
純 資 産 (百万円)	21,437	22,790	24,005	24,541	24,317	

※ 第64期、第65期の中間期の数値は、参考として記載しております。

セグメント別概況

ミラーシステム事業部門

自動車関連分野

自動車業界におきましては、世界的な金融破綻から、ドル、ユーロ売りによる円相場の急騰で輸出関連企業の業績悪化に対する不安感を誘い、下期に向けて自動車業界関連全体で前期を下回る生産台数が予測されております。

このような状況の中で、自動車用バックミラーは、第2四半期において、売上高、営業利益ともに順調に伸ばすことが出来ました。なかでもタイ及び中国の生産・販売拠点では順調に推移いたしました。なお、北米の生産・販売拠点では景気後退のおおを受け、生産性の改善等努力しておりますが、厳しい状態が続いております。

オプトロニクス関連分野

オプトロニクス関連分野では、薄型テレビ用スタンドが見込を下回り、売上高は前年同期より減少し厳しい状況が続きました。

以上の結果、当部門の売上高は、29,657百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

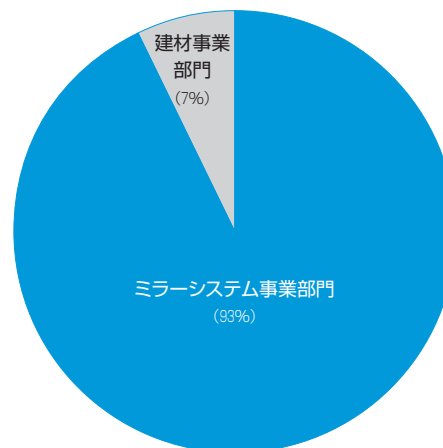
建材事業部門

建設業界では、改正建築基準法の施行等により新設住宅着工戸数が低迷する中で、業者間の受注競争激化の影響を受け、前期同様厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で、ガラス・サッシ等住宅建材の卸売と工事を中心とした当部門では、商品販売におきましては防災・防犯ガラス、断熱複層ガラス等高機能商品の拡販に努め、工事では高付加価値工事の施工等を重点方針として掲げてまいりました。

売上の確保と共に、お客様に対する提案力の強化に注力してまいりましたが、当部門の売上高は2,196百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

●事業の種類別セグメント売上高



今後の課題と経営戦略・トピックス

今後の課題と経営戦略

ミラーシステム事業部門における自動車関連分野では、今後も自動車メーカーの世界最適生産・調達・供給のグローバルな拡大に対応し、国内外拠点の強化・充実を図り、バックミラーをはじめとする自動車用安全視認システムメーカーとして、経済減速に対抗すべく、世界トップレベルのサプライヤーを目指してまいります。特に国内におきましては「安全・品質」を基本とし、仕入先も含めた組織的な品質改善活動を展開してまいります。

海外におきましては、アジア拠点（タイ・中国）での生産力の拡充に努めてまいります。北米拠点におきましては、依然として厳しい状況が続いておりますが引き続き収益性の改善に取り組んでまいります。また、株式会社村上開明堂九州は本年4月に竣工式を行い、8月に操業を開始いたしました。今後も計画的に万全な対応をしてまいります。

また、国内におきましては徹底した原価低減活動を展開し原価を引き下げるとともに設計技術力及び製造技術力を一層強化・育成し、お客様のニーズを先取りした高品質で且つ高付加価値な新製品開発に努めてまいります。

オプトロニクス関連分野につきましては、当社で設計し、中国の協力会社に生産委託をしている薄型テレビ用スタンドが家電業界特有の熾烈な価格競争に晒されております。このような状況の中でより一層拡販を図ってまいります。

建材事業部門では、市場規模の拡大が期待できない中でも、利益性を重視し、グループ経営資源の再配分、業務の選択と集中を推進していくことで安定収益の確保と事業の高付加価値化、更なる付加価値創出を目指してまいります。

トピックス

中国における子会社設立のお知らせ

当社100%の出資会社 嘉興村上開明堂汽车配件有限公司を中国浙江省嘉興市（嘉興経済開発区内）に設立し、本年9月に工場用地の土地使用権を取得いたしました。

当社はこれまで、中国における自動車用バックミラーの製造拠点として、嘉興村上石崎汽车配件有限公司（略称MIC）にて生産を行っておりますが、今後も中国における自動車用バックミラー製造の基盤強化・整備に対応していくためのものであります。

新会社は、自動車用バックミラーの鏡製造と、インナーミラーの材料投入から組立までの一貫生産工場をはじめとし、高品質なものづくりを目指し、お客様第一の製品・サービスを提供し、中国において、更なるお客様からの信頼性向上と地域社会と調和のとれた企業を目指してまいります。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成20年 9月30日現在	前期 平成20年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	20,887	21,346
現金及び預金	6,489	6,632
受取手形及び売掛金	10,184	10,613
商品及び製品	773	878
仕掛品	566	590
未成工事支出金	367	121
原材料及び貯蔵品	1,470	1,513
繰延税金資産	634	651
その他	519	468
貸倒引当金	△ 119	△ 123
固定資産	22,529	22,149
有形固定資産	17,689	17,061
建物及び構築物	4,092	3,698
機械装置及び運搬具	4,887	5,212
工具器具及び備品	1,634	1,810
土地	5,583	5,667
リース資産	255	—
建設仮勘定	1,236	671
無形固定資産	709	359
投資その他の資産	4,130	4,728
投資有価証券	2,705	3,426
繰延税金資産	817	694
その他	641	642
貸倒引当金	△ 34	△ 34
資産合計	43,416	43,495

科目	当第2四半期 平成20年 9月30日現在	前期 平成20年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	15,797	15,281
支払手形及び買掛金	8,399	8,771
短期借入金	2,886	2,386
未払法人税等	615	567
製品保証引当金	575	577
賞与引当金	779	699
役員賞与引当金	15	13
その他	2,525	2,265
固定負債	3,301	3,672
長期借入金	364	538
退職給付引当金	1,581	2,024
役員退職慰労引当金	884	859
その他	471	248
負債合計	19,098	18,954
(純資産の部)		
株主資本	21,753	21,056
資本金	3,165	3,165
資本剰余金	3,528	3,528
利益剰余金	15,095	14,396
自己株式	△ 35	△ 33
評価・換算差額等	1,139	2,021
その他有価証券評価差額金	1,067	1,260
為替換算調整勘定	71	761
少数株主持分	1,424	1,463
純資産合計	24,317	24,541
負債純資産合計	43,416	43,495

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当第2四半期	前期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	31,854	66,003
売上原価	27,384	56,806
売上総利益	4,469	9,197
販売費及び一般管理費	2,958	5,914
営業利益	1,511	3,282
営業外収益	267	412
営業外費用	64	348
経常利益	1,714	3,347
特別利益	8	34
特別損失	209	180
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,513	3,201
法人税等	527	1,106
少数株主利益	189	418
四半期(当期)純利益	795	1,675

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当第2四半期	前期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,776	6,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,882	△ 3,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 68	△ 392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 265	71
現金及び現金同等物の増減額	△ 438	2,291
現金及び現金同等物の期首残高	6,525	4,234
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減	255	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	6,341	6,525

国内外関係会社拠点 (平成20年9月30日現在)

株式会社村上開明堂精機

茨城県常総市鴻野山1422-1



Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)

575 Water Tower Bypass, Campbellsville,
Kentucky 42718

株式会社湘南光膜研究所

東京都品川区戸越1丁目27番23号

嘉興村上石崎汽车配件有限公司 (MIC)

浙江省嘉興經濟開發区正原路280号



ASIA

株式会社村上開明堂

株式会社村上開明堂化成

株式会社村上開明堂ビジネスサービス

静岡県静岡市駿河区宮本町12番25号

株式会社村上開明堂建材

株式会社村上開明堂テクノ

静岡県静岡市葵区流通センター14番3号

株式会社エイジー

静岡県焼津市柳新屋77番地

株式会社村上開明堂九州

福岡県朝倉市烏集院字申掛660番地1

村上開明堂(香港)有限公司

香港九龍官塘鴻圖道64號1字樓

USA

Murakami Ampas (Thailand) Co.,Ltd. (MATCO)

531 Moo 4, Bangpoo Industrial Estate,
Tambol Praksa, Amphur Muangsamutprakarn,
Samutprakarn. 10280



Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)

1,Rojana Industrial Park, Moo 5,
Tambol U-Thai, Amphur U-Thai,
Pranakorn Sir Ayutthaya 13210

Murakami Saikyu (Thailand) Co., Ltd. (MST)

826/5 Moo4, BangpooIndustrial Estate,
Tambol Praekasa, Amphur Muang Samutprakarn,
Samutprakarn Province 10280



株式の概況 (平成20年9月30日現在)

株式の状況

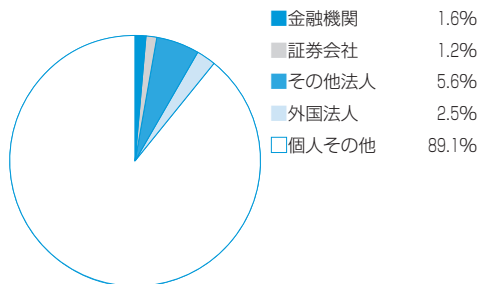
発行可能株式総数	29,900,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
株主数	940名

大株主

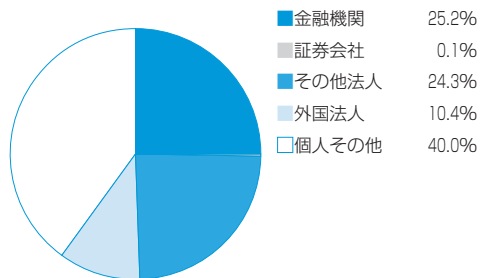
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
村上英二	1,986	15.1
旭硝子株式会社	1,239	9.4
株式会社豊英社	1,030	7.8
ビービーエイチフォーフィデリティーロープライスストックファンド	800	6.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	647	4.9
村上開明堂社員持株会	637	4.8
株式会社静岡銀行	459	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティインベストメンツ株式会社信託口)	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4
東京中小企業投資育成株式会社	409	3.1

(注) 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●所有者別株主数



●所有者別株式数



会社の概況 (平成20年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社村上開明堂
設立	昭和23年3月27日
資本金	3,165,445,000円
発行済株式総数	13,100,000株
事業内容	自動車用バックミラー、ファインガラスの製造、販売 ガラス、鏡、サッシの販売、加工、施工
従業員数	連結：2,641名

役員

取締役会長 (代表取締役)	武藤 忠義
取締役社長 (代表取締役)	村上 太郎
専務取締役	杉本 由朗
常務取締役	村上 信
常務取締役	伊藤 寧俊
常務取締役	小川 忠彦
取締役相談役	村上 英二
取締役	吉村 安巨
取締役	川本 正則
取締役	杉浦 正己
取締役	岩邊 直人
取締役	青山 芳博
取締役	吉村 勝行
取締役	豊長 敬治
監査役 (常勤)	村上 淑人
※監査役	小室 太郎
※監査役	齋藤 安彦
※監査役	神谷 聰一郎

事業所

本社	静岡県静岡市駿河区宮本町12番25号
営業所	流通センター事業所 (静岡県静岡市)
	東京支店 (東京都葛飾区)
	沼津支店 (静岡県沼津市)
	浜松営業所 (静岡県浜松市)
	中部営業所 (愛知県豊田市)
工場	藤枝事業所 (静岡県藤枝市)
	焼津事業所 (静岡県焼津市)
	大井川事業所 (静岡県藤枝市)

国内子会社

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
株式会社村上開明堂九州	250	100.0
株式会社湘南光膜研究所	50	100.0
株式会社村上開明堂テクノ	40	100.0
株式会社村上開明堂化成	20	100.0
株式会社村上開明堂精機	17	100.0
株式会社エイジー	10	100.0
株式会社村上開明堂建材	10	100.0
株式会社村上開明堂ビジネスサービス	10	100.0

海外子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率 (%)
ムラカミニューファクチャリングUSA株式会社	千米ドル 38,000	100.0
嘉興村上石崎汽车配件有限公司	千米ドル 6,000	70.0
ムラカミニューファクチャリング(タイランド)株式会社	千パーツ 180,000	100.0
ムラカミアンバス(タイランド)株式会社	千パーツ 100,000	49.9
村上開明堂(香港)有限公司	千香港ドル 15,198	100.0
ムラカミサイキュー(タイランド)株式会社	千パーツ 39,000	90.0
嘉興村上開明堂汽车配件有限公司	千米ドル 3,700	100.0

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/corp/ir.html>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル

0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)

●ホームページ

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(株券電子化実施後の手続のお申出先について)

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

- 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
 - 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先
 - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
 - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する下記口座管理機関
- なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受付けることができるのは、特別口座に登録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

記

・口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
・同ご照会先 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
・同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

以上

(株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて)

株券電子化制度への移行に伴い、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様の単元未満株式の買取請求につきましては、次のとおりのお取扱いとさせていただきますのでご承願いたします。

- 平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)
- 平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
なお、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。



株式会社 村上開明堂
〒422-8569 静岡県静岡市駿河区宮本町12番25号
ホームページ <http://www.murakami-kaimeido.co.jp/>